学校番号	１００７

令和３年度　看護科

教科	看護	科目	基礎看護	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	看護講座Ⅰ						
使用教科書	基礎看護（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

より自然な身体看護が行えるよう、人の動きをうまく利用するキネステティクスを学びます。また、日常生活看護を実際に看護師役･患者役に分かれて体験し､体験してみないとわからない感覚を考察し、今後の看護活動に活かしていきます。実習には積極的に参加し、多くの気づきを得られるようにしましょう。

2　学習の到達目標

看護職を目指すにあたり、コミュニケーションの基礎となる力を身につけ、相手のことを考えた看護活動を行えるようになることを目標とする。

ひとつひとつの看護技術について、興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について関心をもち、看護の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して看護活動を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的・基本的な技術を身につて、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する	基礎看護に関する基礎的･基本的な知識を身に付け､看護の意義と保健･医療･福祉における看護の意義や役割を理解している
評価方法	定期テスト 学習状況の観察等	定期テスト レポート、発表 自己評価・相互評価等	定期テスト レポート、発表 自己評価・相互評価等	定期テスト 学習状況の観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ターム	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	看護の意義・病床環境の調節・活動・運動の援助	・看護が様々な分野で行われていることを知る ・病床環境を整える意義を学ぶ 実習：ベッドメーキング ・姿勢・体位と運動の生体に及ぼす影響を知る。 実習：体位変換	○	○	○	○	a:看護の意義・日常生活の看護・姿勢と移動について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:より良い日常生活の看護・その姿勢と移動について考えを深めることができる c:ベッドメーキング、体位変換の技術を身に付けている d:日常生活の看護、姿勢と体位について、正しい知識を身に付けている	出席点 提出物 態度点 （授業への関心・意欲・取りくみ） 考査点
2ターム	身体の清潔の援助	・身体の清潔の意義を知り、その援助方法を学ぶとともに患者の苦痛も理解する 実習：手洗い、手浴、足浴 清拭	○	○	○	○	a:清潔の意義について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:清潔援助について考えを深めることができる c:清潔援助の技術を身に付けている d:身体の清潔について、正しい知識を身に付けている	出席点 提出物 態度点（授業への関心、意欲、取り組み） 考査点
3ターム	フィジカルアセスメント	・体温、脈拍、呼吸、血圧の生理を知り、その測定方法を知る 実習：体温 脈拍 呼吸測定 血圧測定	○	○	○	○	a:バイタルサインについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:バイタルサインの測定方法について考えを深めることができる c:バイタルサインの技術が身に付けている d:バイタルサインの測定方法・基準値について、正しい知識を身に付けている	出席点 提出物 態度点 （授業への関心・意欲・取りくみ） 考査点
4ターム	食生活の援助・排泄の援助	・食事の意義、影響を及ぼす因子を知り、その援助方法を学ぶ。実習：食事介助 ・口腔の清潔の意義を知り、その援助方法を学ぶ。 実習：口腔ケア ・排泄の生理と習慣を知り、その援助方法と看護者の役割を知る	○	○	○	○	a:食事・口腔の清潔・排泄について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:食事・口腔の清潔・排泄介助の意義について考えを深めることができる c:食事介助・口腔ケア・排泄介助の技術を身に付けている d:食事・口腔の清潔・排泄について、正しい知識を身に付けている	出席点 提出物 態度点 （授業への関心・意欲・取りくみ） 発表 考査点

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。